

次号予告

特集 企業事例 トヨタの生産システム

| | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| トヨタ生産方式の基本的な考え方 | 中山清孝, 秋岡俊彦 (トヨタ自動車) |
| 生産管理システム | 小谷重徳 (トヨタ自動車) |
| 新しい自動車組立ラインの開発—人を中心とした自律適応型組立ライン | 久田修義, 太田一郎 (トヨタ自動車) |
| 組立ライン品質情報システム | 中嶋正直 (トヨタ自動車) |
| 自動車生産における部品(エンジン)工場生産管理システム | 内藤 正, 脇山春通, 山本浩史, 玉田秀一 (トヨタ自動車) |
| 国内分散工場向け調達物流体制の構築 | 中川和正 (トヨタ自動車) |

編集後記●新年おめでとうございます。今年は日本OR学会創立40周年ということで重ね重ねおめでとうございます●今月号の特集は「都市構造と省エネルギー」ですが、我が家では本当にたくさんの電気製品を利用しており、息子たちは車でガソリンを浪費しているといったエネルギー浪費家族です。もう電気製品も買わなくなってもいいかな、なんてことは全くなく昨年も新しい電気製品が少なくとも3種類、我が家に訪れました。しかし、我が家の電流容量は30アンペアなのでうっかりするとブレーカーが落ち、家中、暗やみとなり、ブレーカーを手探りで戻しに行くという生活です。電流容量を上げるには団地全体としての対処が必要ということで、いつになったら電流容量が上がるものやら全く分かりません。電子レンジ、乾燥機、電気カーペット、冷・暖房が電流を食う元凶ですが、使用時間の短いのは電子レンジくらいで、その他は使用時間の長いものが多く、知らず知らずのうちに容量いっぱい近づいてしまっていて、ブレーカーが落ちてしまうと

いうことは分かっているのですがね●ブレーカーではなくてヒューズの時代には電力会社の人がヒューズが飛ぶたびにに取り換えに来てくれていた（これは私の田舎だけの話でしょうか？）これを考えると随分、便利になったと思います。次には、電気製品をスイッチオンすると使用電流量がコントロールパネルに申告され、容量を越えるときにはその製品は使えないとか、電流容量制限が不必要な時代になるとかしないかなと期待したりしますが、後者は今月号の特集テーマと完全に対立する方向かなとも思えます。しかし、冬の天気の良い日の南側の部屋の窓際の暑さと言ったら堪え難いものがあります。南側の部屋の窓際で仕事をしていると、この暑さをエネルギーとして使えないものなのか、たとえば窓がエネルギーを吸収し、それを電気に変えて蓄電してくれるようにはならないのかなどと素人考えをめぐらせています。いずれにしても、あまり省エネルギーを意識したものではありません。これを機会に少し反省して省エネルギーを心掛けます。（本当かな？）（上田 徹）

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 逆瀬川浩孝(早稲田大学) 副委員長 山上伸(東京ガス(株)), 山下勝比拡(株東芝), 大山達雄(埼玉大学)
委員 伊藤裕康(株富士通研究所), 上田徹(成蹊大学), 葛山康典(早稲田大学), 國澤直樹(東京電力(株)), 栗田治(慶応義塾大学), 佐賀井重雄(財電力中央研究所), 外嶋成留(住友金属工業(株)), 田口東(中央大学), 田中宏和(さくら総合研究所), 中里宗敬(青山学院大学), 西尾チヅル(筑波大学), 水野眞治(統計数理研究所), 矢島安敏(東京工業大学), 山下英明(駒澤大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成9年1月号 第42巻 第1号 通巻433号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含) 年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ